事例No.	1169
公表年度	R2
団体の属性	特別区
団体名	東京都千代田区

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・組織改革 ・情報公開

事例種類	自治体間連携

事例内容・タイトル

自治体間連携による森林整備事業の実施

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

自治体間連携

東京都　千代田区（自治体間連携による森林整備事業の実施）

➢ 千代田区では、地方都市との協定に基づき、区が地方都市の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO_2吸収量を、区から排出されるCO_2の一部と相殺（カーボン・オフセット）する取り組みを行っている。令和元年度においては、以下の取組により、新たに16.95haの間伐、0.07haの造林が実施され、森林の有する公益的機能の発揮につながった。

- 岐阜県高山市と連携し、8.95haの間伐を行った。群馬県嬬恋村と連携し、8.0haの間伐及び0.07haの造林を行った。
- 令和２年度においても、高山市及び嬬恋村と連携して森林整備事業の推進と地球温暖化対策の両立を図る。

□　事業内容

1　地方との連携による森林整備事業

- 地方都市との協定に基づき、区が地方都市の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO_2吸収量を、区から排出されるCO_2の一部と相殺（カーボン・オフセット）する。（区は整備事業費用の１/２を協定により負担する。）

【連　携　先】岐阜県高山市（協定締結：平成24年６月26日）
群馬県嬬恋村（協定締結：平成28年12月21日）

【事　業　費】951千円（全額譲与税）

【実　　績】間伐16.95ha（高山市：8.95ha　嬬恋村：8.0ha）
造林0.07ha（嬬恋村）



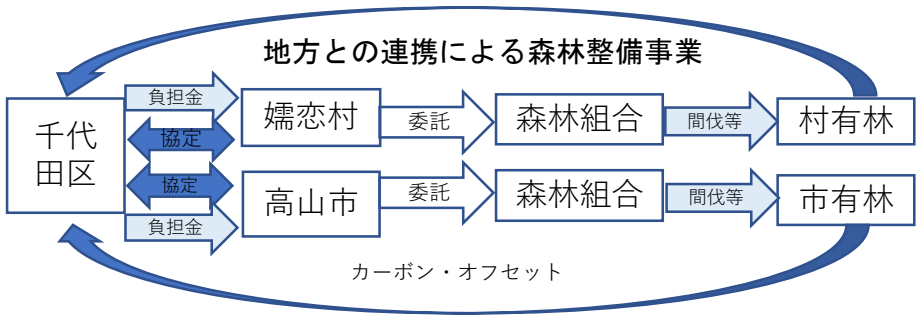
（１　間伐の様子（嬬恋村））



（２　整備対象林の表示板（高山市））

□　事業スキーム

カーボン・オフセット



□　工夫・留意した点

- 連携先の自治体と前年度末から年度当初にかけて協議を行い、整備対象林の状況等を踏まえて整備規模等を決定した。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	6,918千円
②私有林人工林面積（※１）	0ha
③林野率（※２）	0.0%
④人口（※３）	58,406人
⑤林業就業者数（※４）	94人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」